

計 量 証 明 書

材料検査

土壌の溶出及び含有試験

計量証明事業登録 徳島県第42号（騒音）

計量証明事業登録 徳島県第46号（濃度）

計量証明事業登録 徳島県第54号（振動）

 株式会社 環境防災

〒770-0046
徳島県徳島市鮎喰町一丁目57番地
電 話〔088〕632-0111（代）
FAX〔088〕631-5438



計 No. 240891
2025 年 1 月 27 日

有限会社 松尾建材 殿



計量証明事業登録 徳島県第 42 号 (騒音)
計量証明事業登録 徳島県第 46 号 (濃度)
計量証明事業登録 徳島県第 54 号 (振動)

徳島市鮎喰町三丁目五十七番地

株式会社 環境防災

TEL (088) 632-0111 (代)

FAX (088) 631-5438

代表取締役 野上 和彦
計量管理者 吉見 準也
(環境計量士 濃度 第 2336 号)

計 量 証 明 書

2024 年 12 月 24 日 御依頼を受けた

工 事 名	材料検査
試 料 採 取 者	有限会社 松尾建材
試 料 採 取 日	2024 年 12 月 24 日
試料採取方法	スコップによる採取
試料採取場所	徳島県美馬市脇町字曾江名 318-56 (工場内)
試 料 名	粒度化処理イワモル
計 量 の 対 象	濃 度 : 土壌の溶出及び含有試験
計 量 の 方 法	(別紙に記載)

の計量結果を別紙(2葉)のように証明致します。

試 験 結 果 一 覧 表

試 料 名	粒度化処理イワモル				
試料採取場所	徳島県美馬市脇町字曾江名 318-56 (工場内)				
試料採取日	2024 年 12 月 24 日				
項 目	単 位	定量限界	計量結果	判定	基 準 値
カドミウム	mg/l	0.0003	0.0003 未満	○	0.003 以下
全 シ ア ン	mg/l	0.1	0.1 未満	○	検出されないこと
有 機 リ ン	mg/l	0.1	0.1 未満	○	検出されないこと
鉛	mg/l	0.001	0.001 未満	○	0.01 以下
六 価 ク ロ ム	mg/l	0.005	0.012	○	0.05 以下
ヒ 素	mg/l	0.001	0.002	○	0.01 以下
ヒ 素 (農用地)	mg/kg	0.1	0.1 未満	○	15 以下※1
総 水 銀	mg/l	0.0005	0.0005 未満	○	0.0005 以下
アルキル水銀	mg/l	0.0005	0.0005 未満	○	検出されないこと
P C B	mg/l	0.0005	0.0005 未満	○	検出されないこと
銅 (農用地)	mg/kg	1	1 未満	○	125 以下※1
ジクロロメタン	mg/l	0.002	0.002 未満	○	0.02 以下
四 塩 化 炭 素	mg/l	0.0002	0.0002 未満	○	0.002 以下
クロロエチレン	mg/l	0.0002	0.0002 未満	○	0.002 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.0004	0.0004 未満	○	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/l	0.002	0.002 未満	○	0.1 以下
1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.004	0.004 未満	○	0.04 以下
1,1,1-トリクロロエチレン	mg/l	0.01	0.01 未満	○	1 以下
1,1,2-トリクロロエチレン	mg/l	0.0006	0.0006 未満	○	0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/l	0.001	0.001 未満	○	0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/l	0.001	0.001 未満	○	0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/l	0.0002	0.0002 未満	○	0.002 以下
ベンゼン	mg/l	0.001	0.001 未満	○	0.01 以下
チウラム	mg/l	0.0006	0.0006 未満	○	0.006 以下
シマジン	mg/l	0.0003	0.0003 未満	○	0.003 以下
チオベンカルブ	mg/l	0.002	0.002 未満	○	0.02 以下
セレン	mg/l	0.001	0.002	○	0.01 以下
ふっ素	mg/l	0.08	0.71	○	0.8 以下
ほう素	mg/l	0.10	0.10 未満	○	1 以下
1,4-ジオキサン	mg/l	0.005	0.005 未満	○	0.05 以下
ダイオキシン類 (含有)	pg-TEQ/g-dry	別紙参照	0.030	○	150 以下※2
含 水 率	%	0.1	25.6	○	—

基準値：平成3年環境庁告示第46号「土壌の汚染に係る環境基準について」抜粋

※1 ヒ素及び銅については、農用地(田)における基準である。

※2 ダイオキシン類については平成11年環境庁告示第68号「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌汚染に係る環境基準について」抜粋

「検液中に検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう(平成3年8月23日環境庁告示第46号抜粋)

1,2-ジクロロエチレンの濃度は、シ体の濃度とトランス体の濃度の和とする。

検液の作成方法：平成3年環境庁告示第46号付表

注) 判定の欄には、基準値と比較して満足するものを「○」、満足しないものを「×」として表示した。

ダイオキシン類の分析試験は帝人エコ・サイエンス株式会社 松山事業所(認定特定計量証明事業者：愛媛県松山市)にて行った。また、ダイオキシン類の計量証明書及び詳細報告書は巻末に示した。

計 量 方 法

項 目	計 量 方 法
カドミウム	JIS K 0102 55.4
全シアン	JIS K 0102 38.5
有機リン	環境庁告示 第64号 付表1
鉛	JIS K 0102 54.4
六価クロム	JIS K 0102 65.2.3
ヒ素	JIS K 0102 61.4
ヒ素(農用地)	総理府令 第31号
総水銀	環境庁告示 第59号 付表2
アルキル水銀	環境庁告示 第59号 付表3
P C B	環境庁告示 第59号 付表4
銅(農用地)	総理府令 第66号
ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
クロロエチレン	環境庁告示 第10号 付表2
1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
シス-1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
トランス-1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,3-ジクロロプロパン	JIS K 0125 5.2
ベンゼン	JIS K 0125 5.2
チウラム	環境庁告示 第59号 付表5
シマジン	環境庁告示 第59号 付表6第1
チオベンカルブ	環境庁告示 第59号 付表6第1
セレン	JIS K 0102 67.4
ふっ素	JIS K 0102 34.4
ほう素	JIS K 0102 47.4
1,4-ジオキサン	環境庁告示 第59号 付表8第3
含水率	環境庁告示 第13号

計 量 結 果

試料名	粒度化処理イワモル			
試料採取場所	徳島県美馬市脇町字曾江名 318-56 (工場内)			
試料採取日	2024年12月24日			
項 目	単 位	定量下限値	計 量 結 果	基 準 値
カドミウム	mg/l	0.0003	0.0003 未満	0.003
全シアン	mg/l	0.1	0.1 未満	検出されないこと
有機リン	mg/l	0.1	0.1 未満	検出されないこと
鉛	mg/l	0.001	0.001 未満	0.01
六価クロム	mg/l	0.005	0.012	0.05
ヒ素	mg/l	0.001	0.002	0.01
ヒ素(農用地)	mg/kg	0.1	0.1 未満	*15
総水銀	mg/l	0.0005	0.0005 未満	0.0005
アルキル水銀	mg/l	0.0005	0.0005 未満	検出されないこと
P C B	mg/l	0.0005	0.0005 未満	検出されないこと
銅(農用地)	mg/kg	1	1 未満	*125
ジクロロメタン	mg/l	0.002	0.002 未満	0.02
四塩化炭素	mg/l	0.0002	0.0002 未満	0.002
クロロエチレン	mg/l	0.0002	0.0002 未満	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.0004	0.0004 未満	0.004
1,1-ジクロロエタン	mg/l	0.002	0.002 未満	0.1
1,2-ジクロロエタン	mg/l	0.004	0.004 未満	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/l	0.01	0.01 未満	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/l	0.0006	0.0006 未満	0.006
トリクロロエチレン	mg/l	0.001	0.001 未満	0.01
テトラクロロエチレン	mg/l	0.001	0.001 未満	0.01
1,3-ジクロロプロパン	mg/l	0.0002	0.0002 未満	0.002
ベンゼン	mg/l	0.001	0.001 未満	0.01
チウラム	mg/l	0.0006	0.0006 未満	0.006
シマジン	mg/l	0.0003	0.0003 未満	0.003
チオベンカルブ	mg/l	0.002	0.002 未満	0.02
セレン	mg/l	0.001	0.002	0.01
ふっ素	mg/l	0.08	0.71	0.8
ほう素	mg/l	0.10	0.10 未満	1
1,4-ジオキサン	mg/l	0.005	0.005 未満	0.05
含水率	%	0.1	25.6	—

基準値：平成3年環境庁告示第46号「土壌の汚染に係る環境基準について」抜粋

※ヒ素及び銅については、農用地(田)における基準である。

「検液中に検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう(平成3年8月23日環境庁告示第46号抜粋)
1,2-ジクロロエタンの濃度は、シスの濃度とトランス体の濃度の和とする。

検液の作成方法：平成3年環境庁告示第46号付表

No. D243137-1

2025年1月21日

分析結果報告書

有限会社 松尾建材 様

件名：材料検査

帝人エコサイエンス株式会社
〒108-0073 東京都港区三田3-3-8
松山事業所
〒791-8536 松山市西垣生町2345番地
Tel (089) 971-5818 Fax (089) 972-3957

特定計量証明事業者の認定番号 N-0031-01
計量証明事業登録（愛媛県）第環41号（特定濃度）

計量管理者

岩松 匠



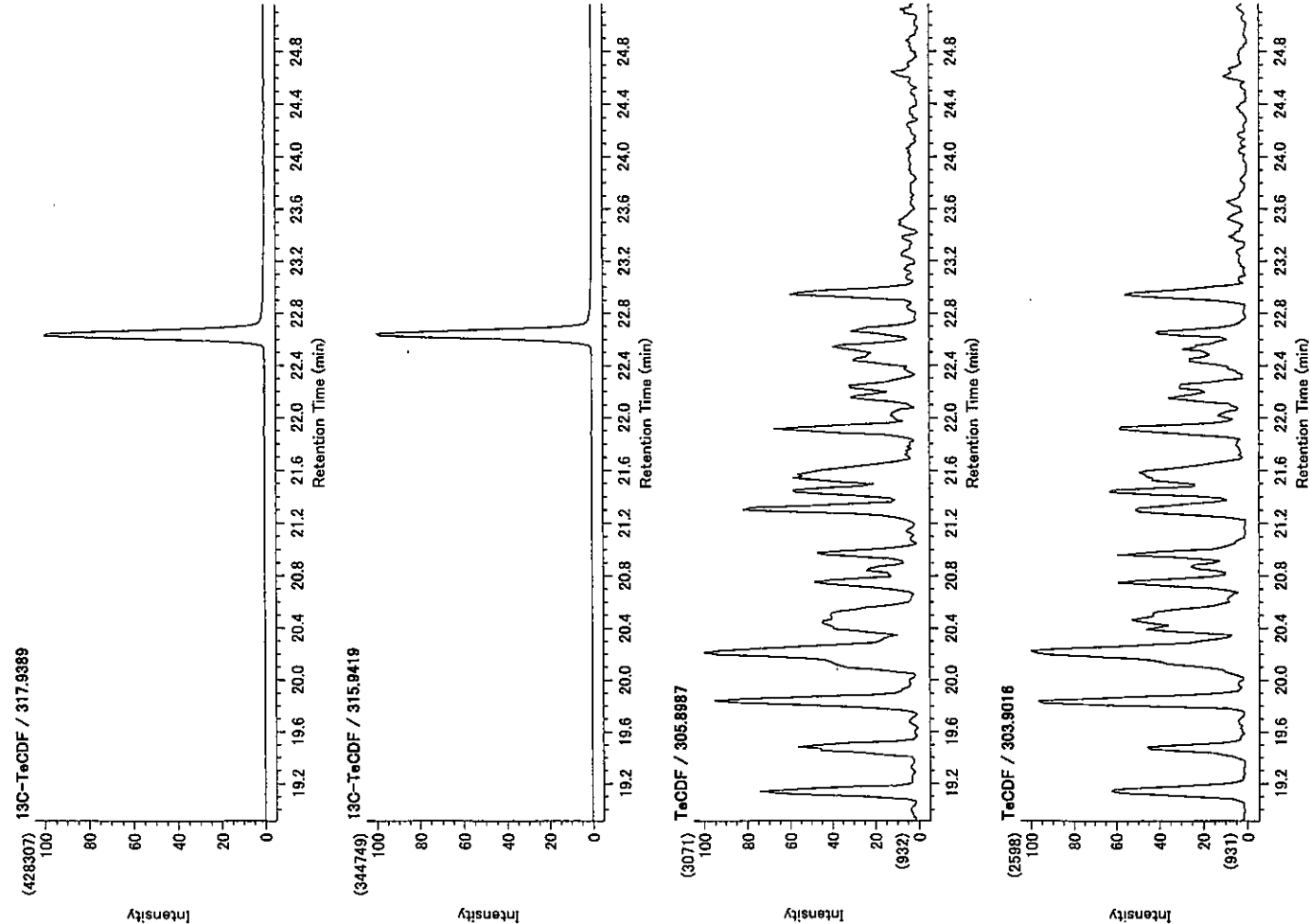
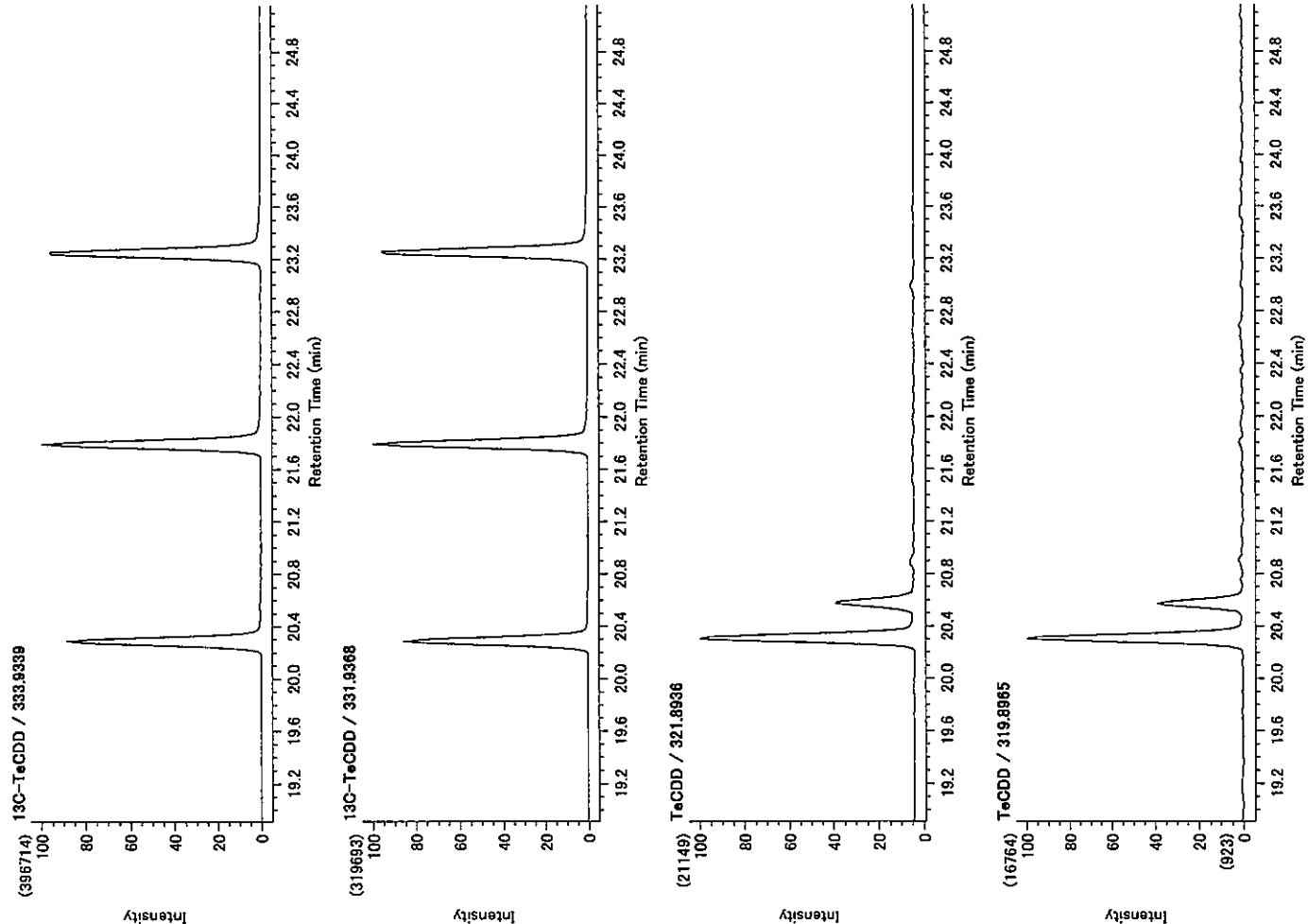
ダイオキシン類試験結果報告書

ご依頼のダイオキシン類の分析結果を下記のとおり報告致します。

測定媒体：土壌
試料名：粒度化処理イワモル
試料区分：持込試料
分析期間：2024年12月27日～2025年1月20日
採取場所：徳島県美馬市脇町字曾江名318-56（工場内）
採取年月日：2024年12月24日
試料採取者：有限会社 松尾建材
徳島県美馬市脇町字曾江名318-56

計量の対象	計量の結果		計量の方法
	実測濃度	毒性等量	
ダイオキシン類濃度	70 pg/g-dry	0.030 pg-TEQ/g-dry	「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」（令和4年 環境省）準拠

- 備考） 1. ダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾフラン、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン及びコプラナーポリ塩化ビフェニルをいう。
2. 毒性等価係数は、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第3条の規定による。
3. 毒性等量は、定量下限以上の値はそのままその値を用い、定量下限未満のものは0（ゼロ）として各異性体の毒性等量を算出し、それらを合計して算出した。
4. 本報告書の一部分を複製する場合には弊社責任者の承認が必要です。

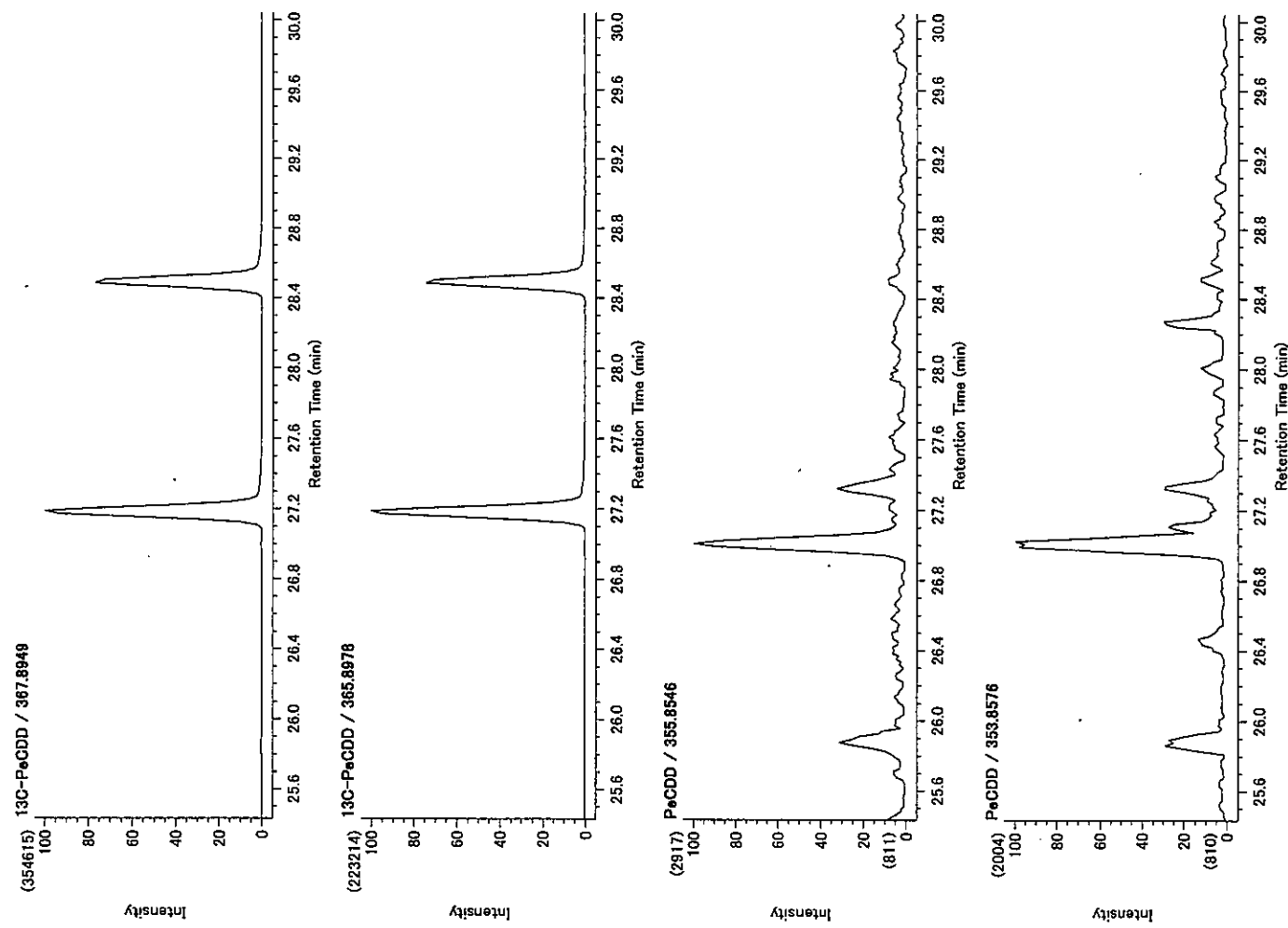
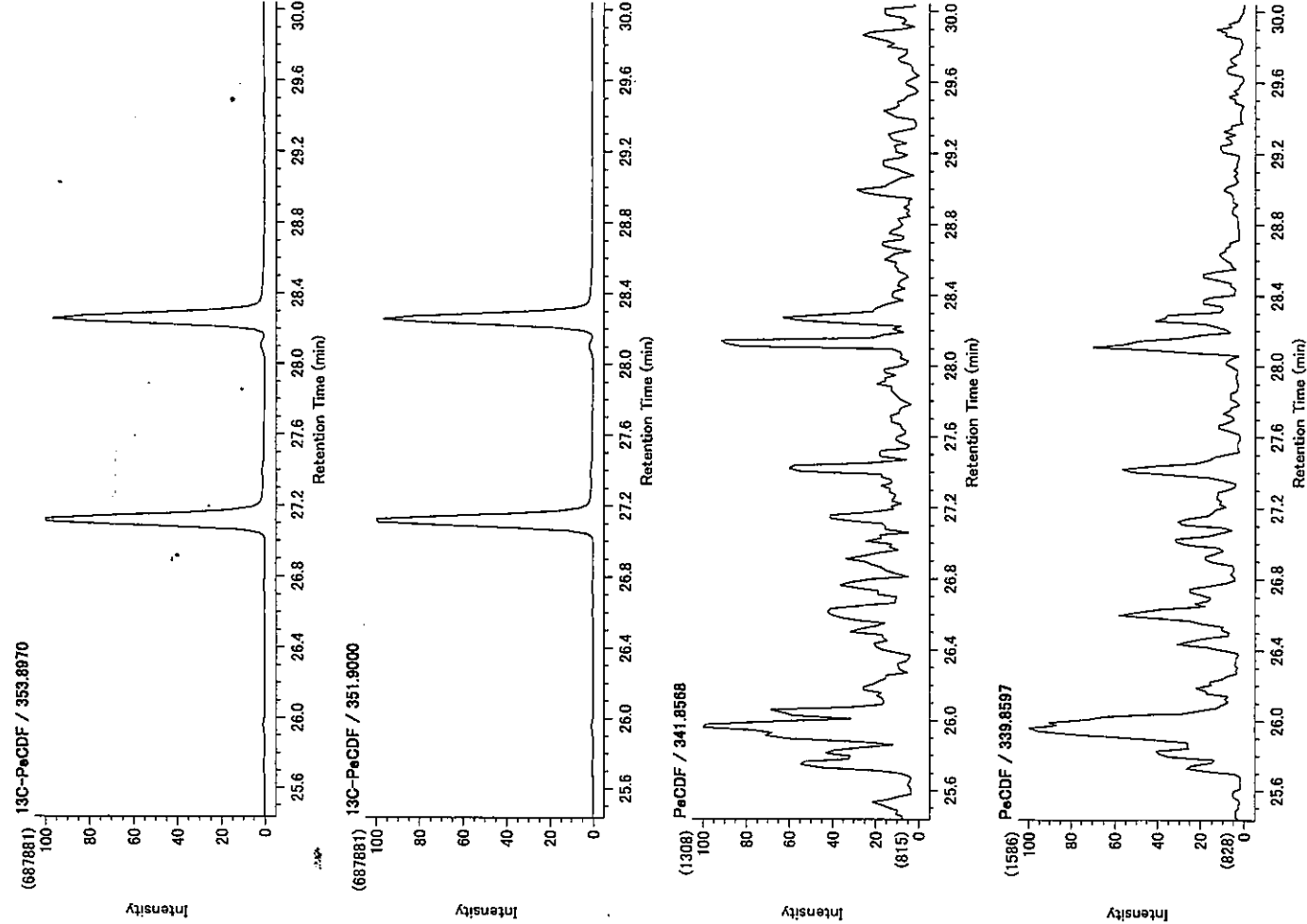
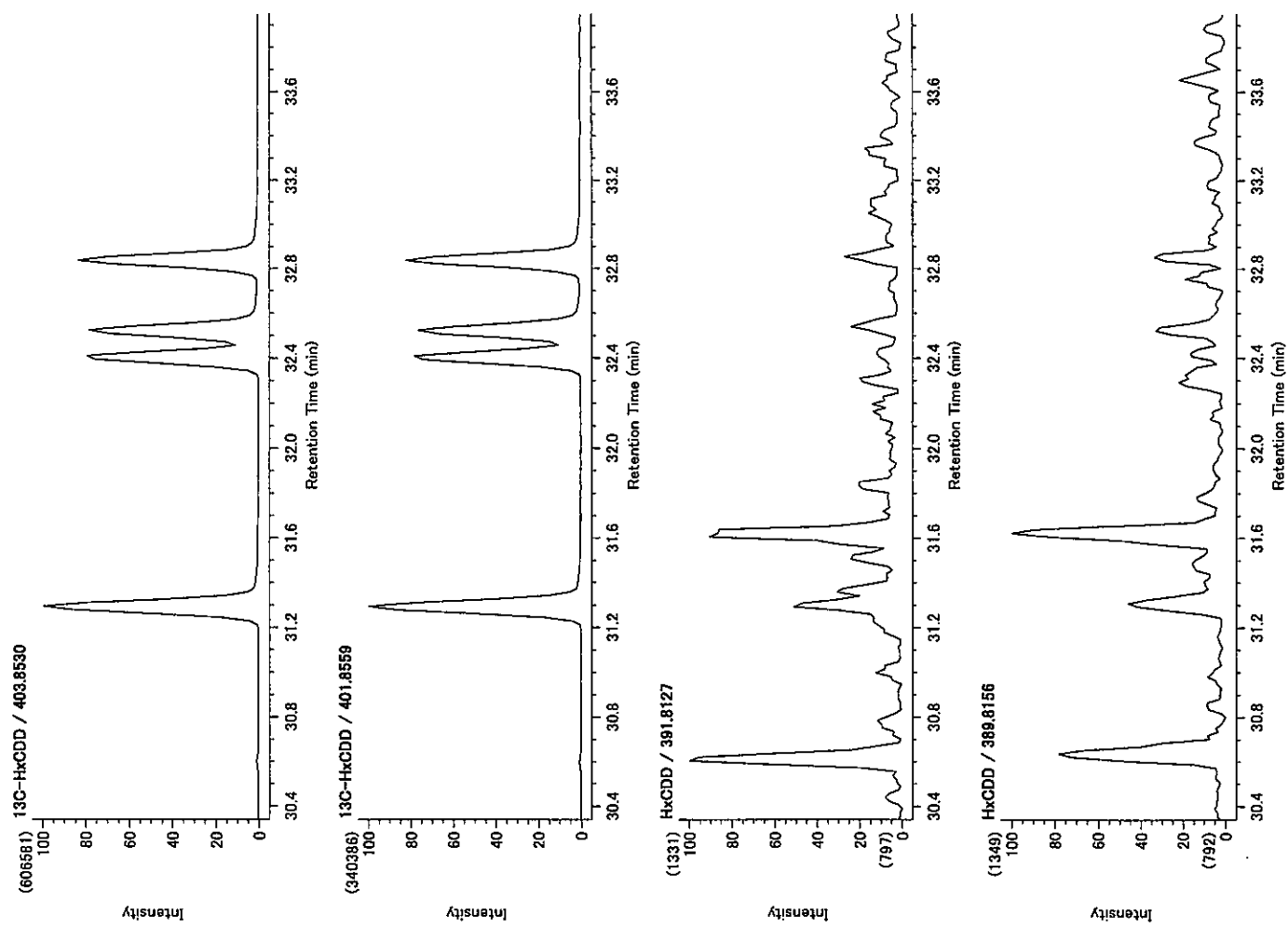
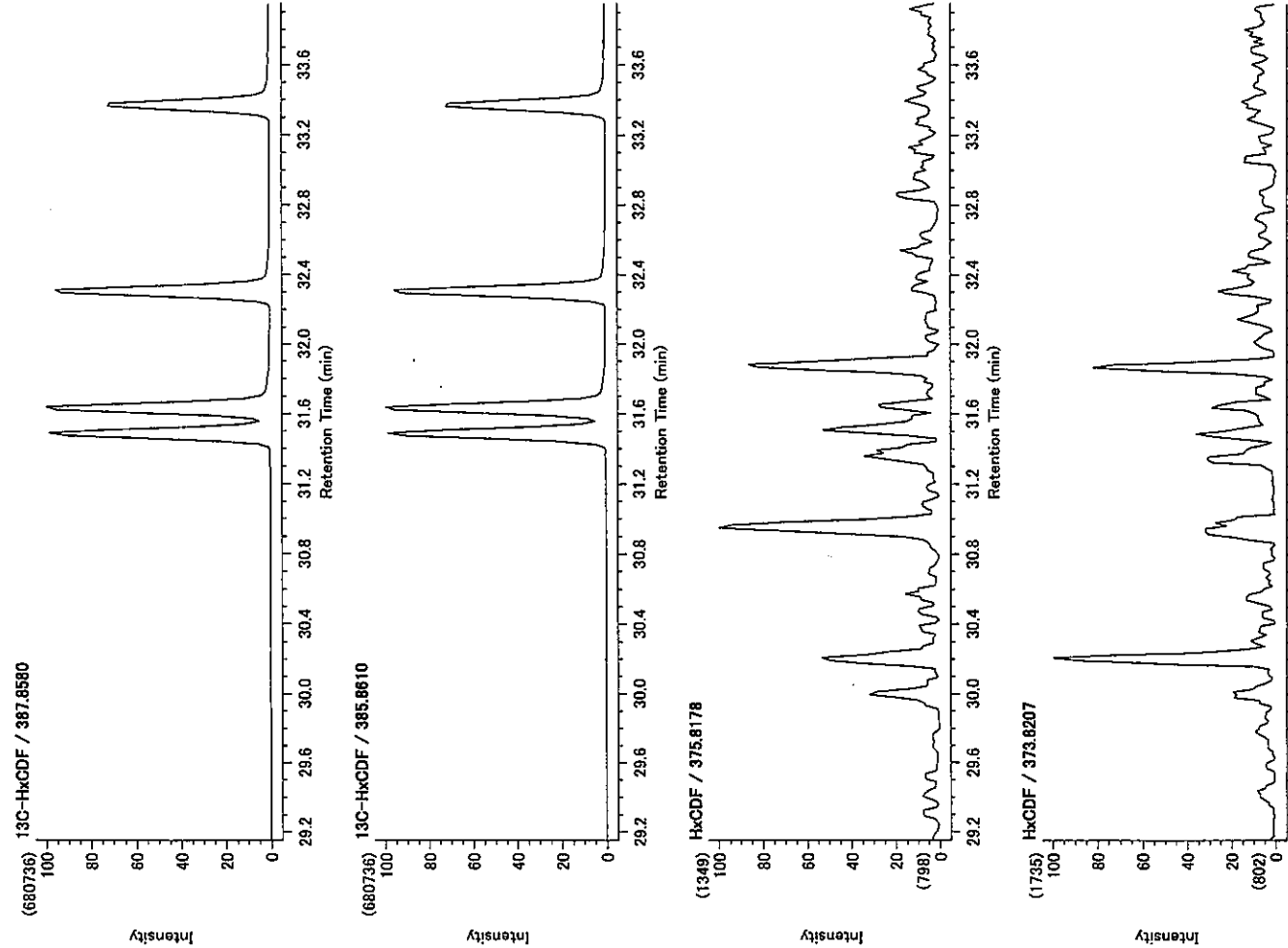


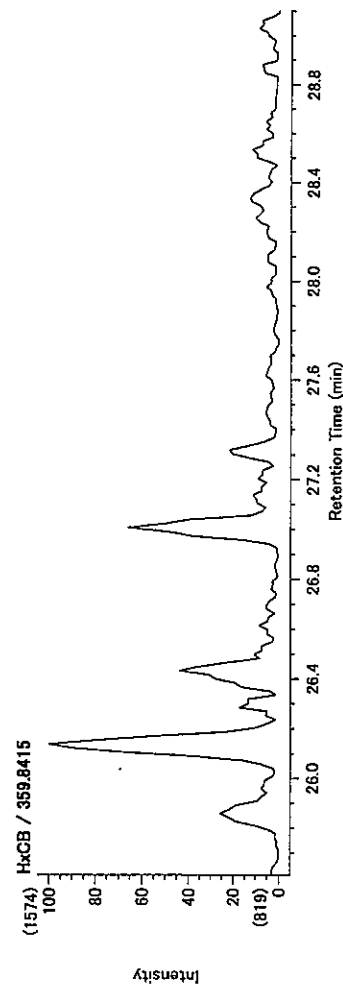
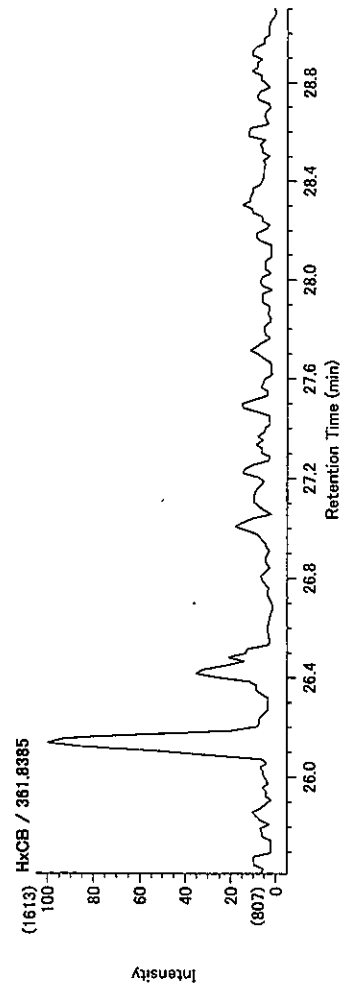
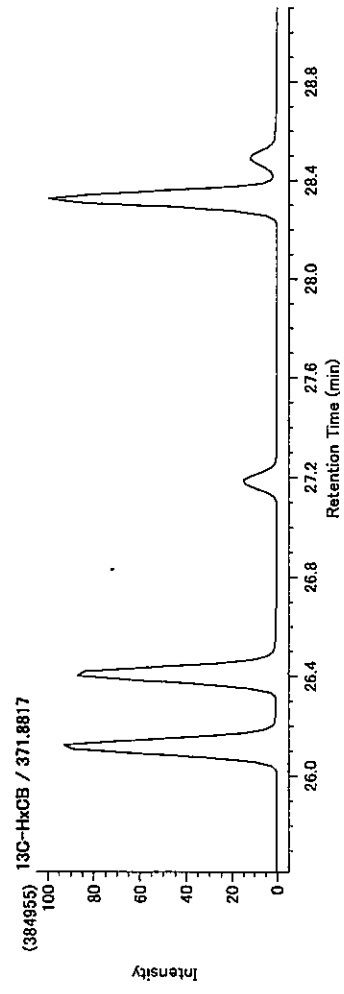
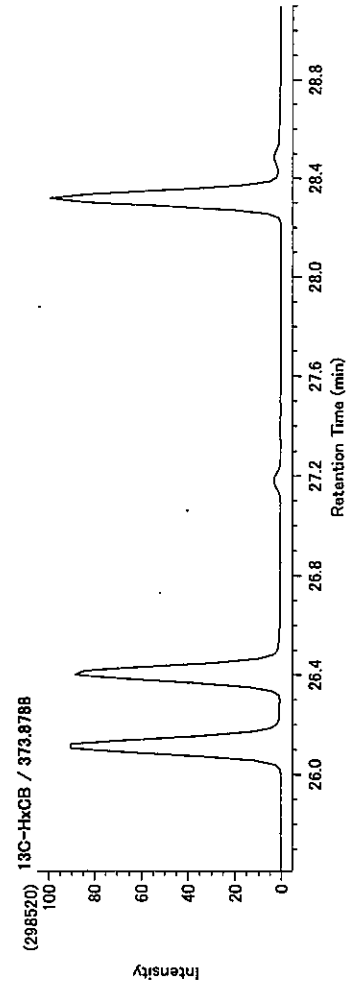
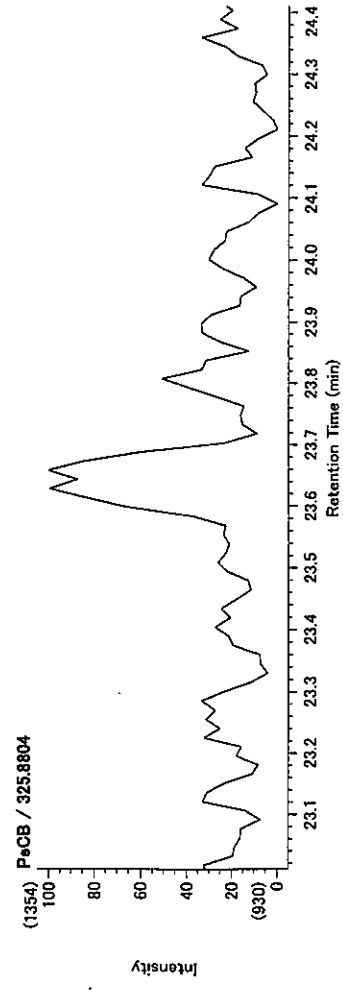
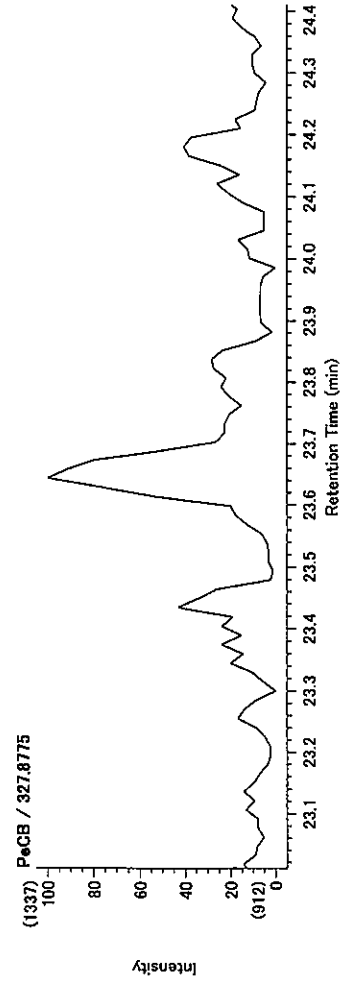
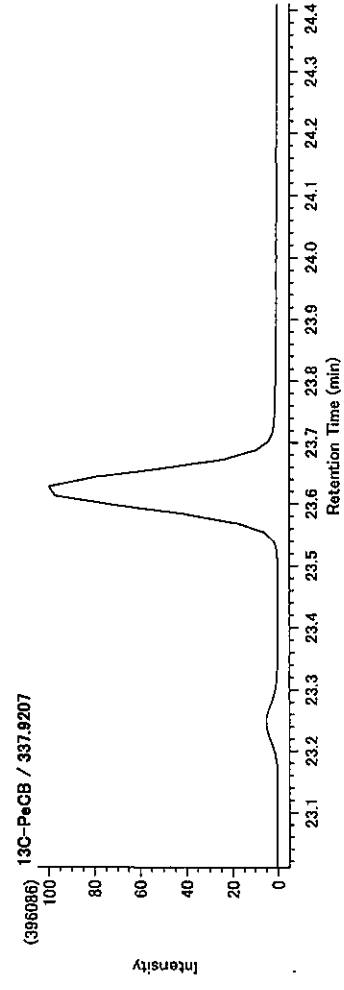
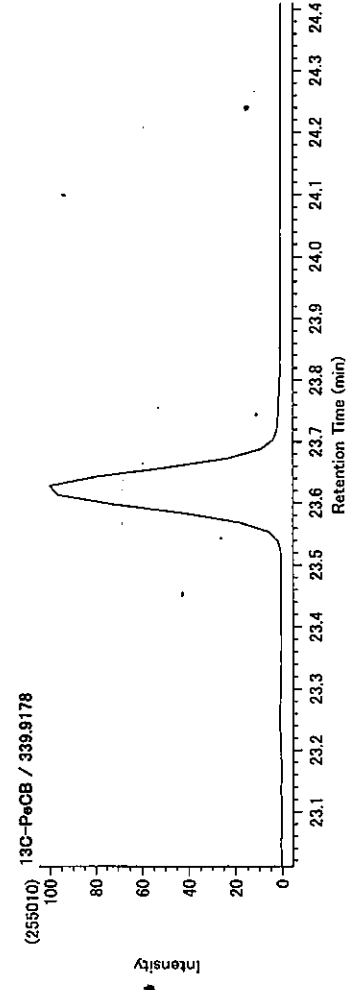
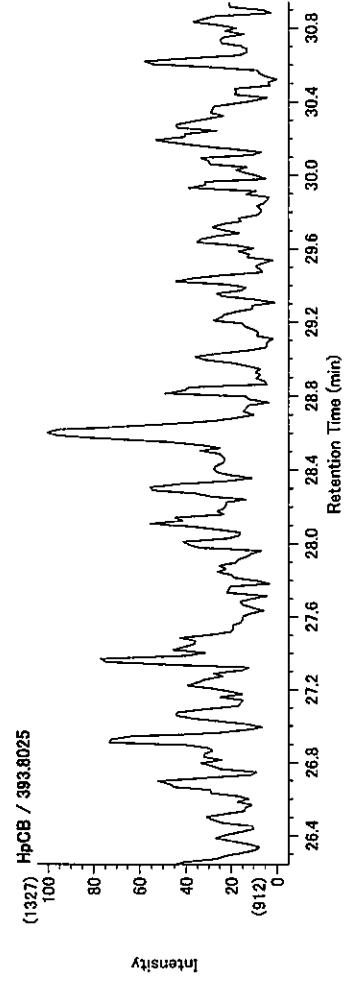
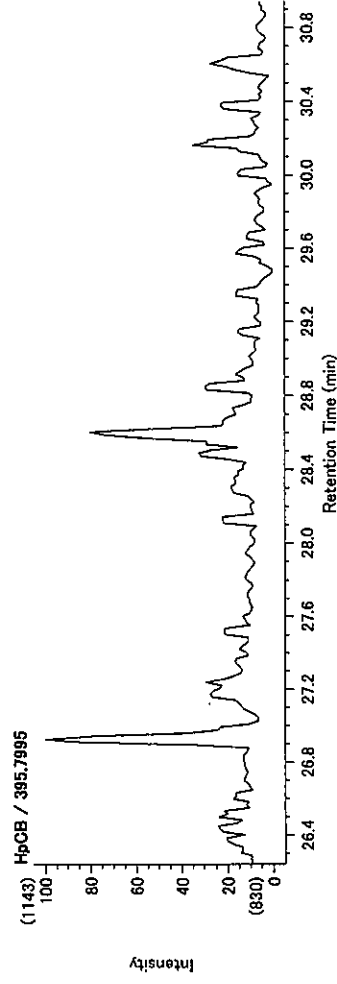
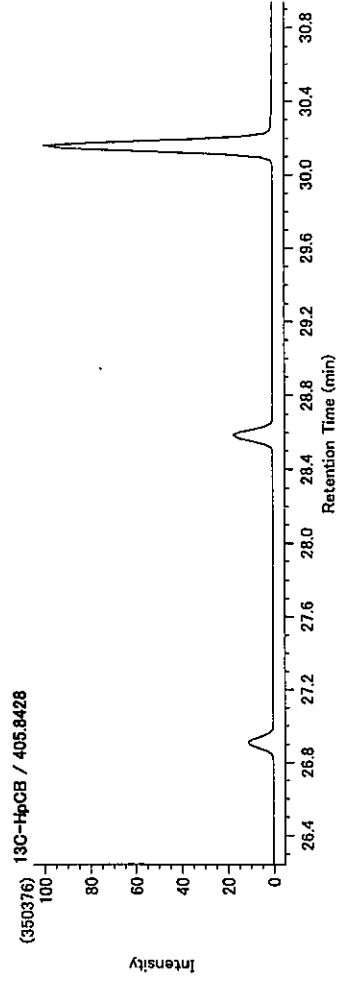
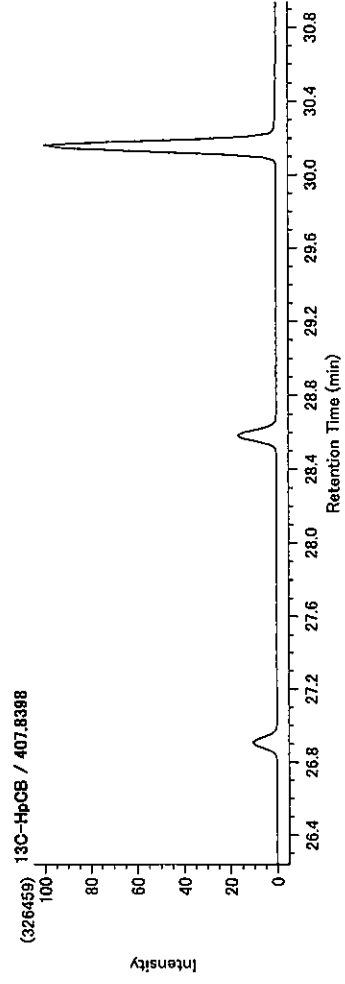
土壤試料中のダイオキシン類分析結果表

(3137-1)

化合物の名称等	試料名：粒度化処理イワモル					
	実測濃度 (Cs)	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数	毒性等量 (TEQ)	参考値 (TEQ)
	pg/g-dry	pg/g-dry	pg/g-dry		pg-TEQ/g-dry	pg-TEQ/g-dry
1, 2, 7, 8-TeCDF	0.4 *	0.5	0.2	0	0	0
2, 3, 7, 8-TeCDF	0.2 *	0.5	0.2	0.1	0	0.02
TeCDFs	7.5	0.5	0.2	—	—	—
1, 2, 3, 7, 8-PeCDF	N. D.	0.5	0.2	0.03	0	0.003
2, 3, 4, 7, 8-PeCDF	N. D.	0.5	0.2	0.3	0	0.03
PeCDFs	1.6	0.5	0.2	—	—	—
1, 2, 3, 4, 7, 8-HxCDF	N. D.	0.9	0.3	0.1	0	0.015
1, 2, 3, 6, 7, 8-HxCDF	N. D.	0.9	0.3	0.1	0	0.015
1, 2, 3, 7, 8, 9-HxCDF	N. D.	0.9	0.3	0.1	0	0.015
2, 3, 4, 6, 7, 8-HxCDF	N. D.	1.0	0.3	0.1	0	0.015
HxCDFs	N. D.	0.9	0.3	—	—	—
1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HpCDF	0.4 *	1.0	0.3	0.01	0	0.004
1, 2, 3, 4, 7, 8, 9-HpCDF	N. D.	1.0	0.3	0.01	0	0.0015
HpCDFs	1.0	1.0	0.3	—	—	—
OCDF	1.0 *	2.3	0.8	0.0003	0	0.00030
Total PCDFs	11	—	—	—	0	0.12
1, 3, 6, 8-TeCDD	7.4	0.5	0.2	0	0	0
1, 3, 7, 9-TeCDD	2.9	0.5	0.2	0	0	0
2, 3, 7, 8-TeCDD	N. D.	0.5	0.2	1	0	0.1
TeCDDs	10	0.5	0.2	—	—	—
1, 2, 3, 7, 8-PeCDD	N. D.	0.5	0.2	1	0	0.1
PeCDDs	2.0	0.5	0.2	—	—	—
1, 2, 3, 4, 7, 8-HxCDD	N. D.	1.0	0.3	0.1	0	0.015
1, 2, 3, 6, 7, 8-HxCDD	N. D.	0.9	0.3	0.1	0	0.015
1, 2, 3, 7, 8, 9-HxCDD	N. D.	1.0	0.3	0.1	0	0.015
HxCDDs	0.8	1.0	0.3	—	—	—
1, 2, 3, 4, 6, 7, 8-HpCDD	1.9	0.9	0.3	0.01	0.019	0.019
HpCDDs	3.8	0.9	0.3	—	—	—
OCDD	37	2.3	0.8	0.0003	0.0111	0.0111
Total PCDDs	54	—	—	—	0.030	0.28
Total (PCDFs+PCDDs)	65	—	—	—	0.030	0.39
3, 4, 4', 5-TeCB (#81)	N. D.	0.7	0.2	0.0003	0	0.00003
3, 3', 4, 4'-TeCB (#77)	1.5	0.7	0.2	0.0001	0.00015	0.00015
3, 3', 4, 4', 5-PeCB (#126)	N. D.	0.7	0.2	0.1	0	0.01
3, 3', 4, 4', 5, 5'-HxCB (#169)	N. D.	0.7	0.2	0.03	0	0.003
Total ノオオ体	1.5	—	—	—	0.00015	0.013
2', 3, 4, 4', 5-PeCB (#123)	N. D.	0.7	0.2	0.00003	0	0.000003
2, 3', 4, 4', 5-PeCB (#118)	2.4	1.0	0.3	0.00003	0.000072	0.000072
2, 3, 3', 4, 4'-PeCB (#105)	0.9	0.9	0.2	0.00003	0.000027	0.000027
2, 3, 4, 4', 5-PeCB (#114)	N. D.	0.7	0.2	0.00003	0	0.000003
2, 3', 4, 4', 5, 5'-HxCB (#167)	N. D.	0.7	0.2	0.00003	0	0.000003
2, 3, 3', 4, 4', 5-HxCB (#156)	0.3 *	0.6	0.2	0.00003	0	0.000009
2, 3, 3', 4, 4', 5'-HxCB (#157)	N. D.	0.7	0.2	0.00003	0	0.000003
2, 3, 3', 4, 4', 5, 5'-HpCB (#189)	N. D.	0.6	0.2	0.00003	0	0.000003
Total モ/オオ体	3.6	—	—	—	0.000099	0.00012
Total (ノオオ体+モ/オオ体)	5.1	—	—	—	0.00025	0.013
Total (PCDFs+PCDDs+コブラナーPCB)	70	—	—	—	0.030	0.41

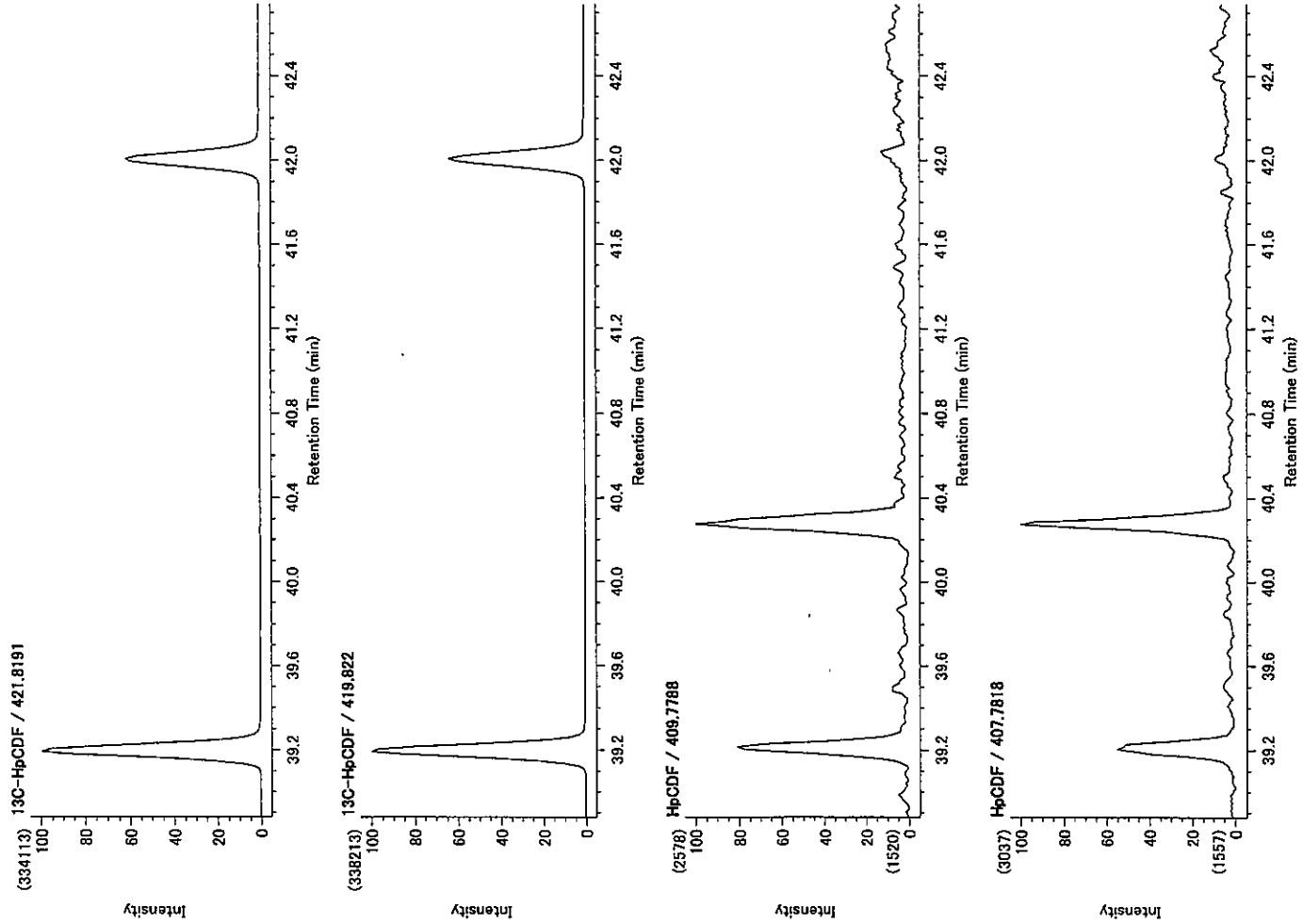
- 備考 1. 実測濃度中の * 付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
2. 実測濃度中の "N. D. " は、検出下限未満であることを示す。
3. 毒性等価係数は、WHO/IPCS (2006) のTEFを適用した。
4. 毒性等量は、定量下限未満の実測濃度を0(ゼロ)として算出したものである。
5. 参考値は、検出下限未満の実測濃度は検出下限の1/2の値を用いて算出したものである。





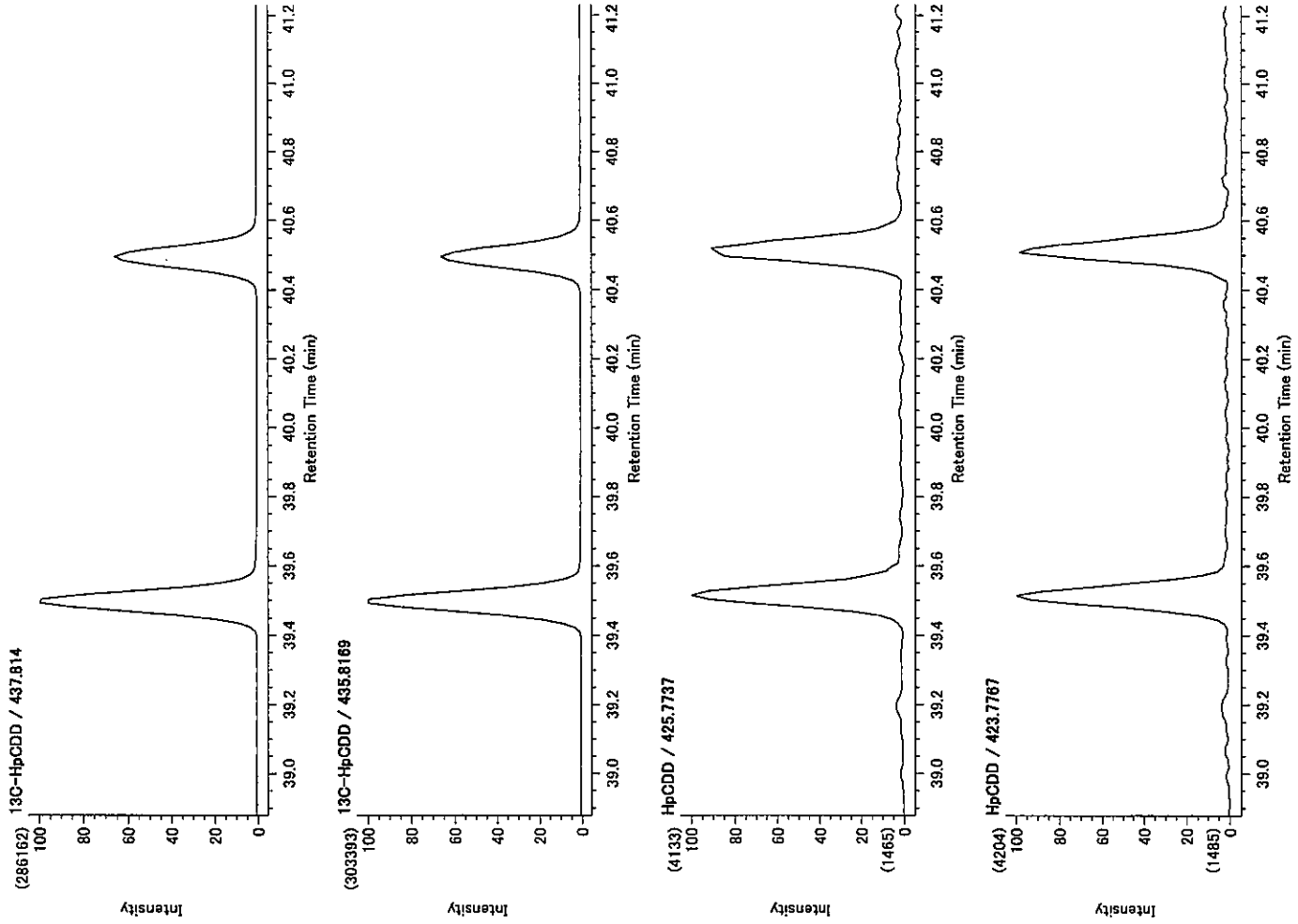
Compound View

D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI



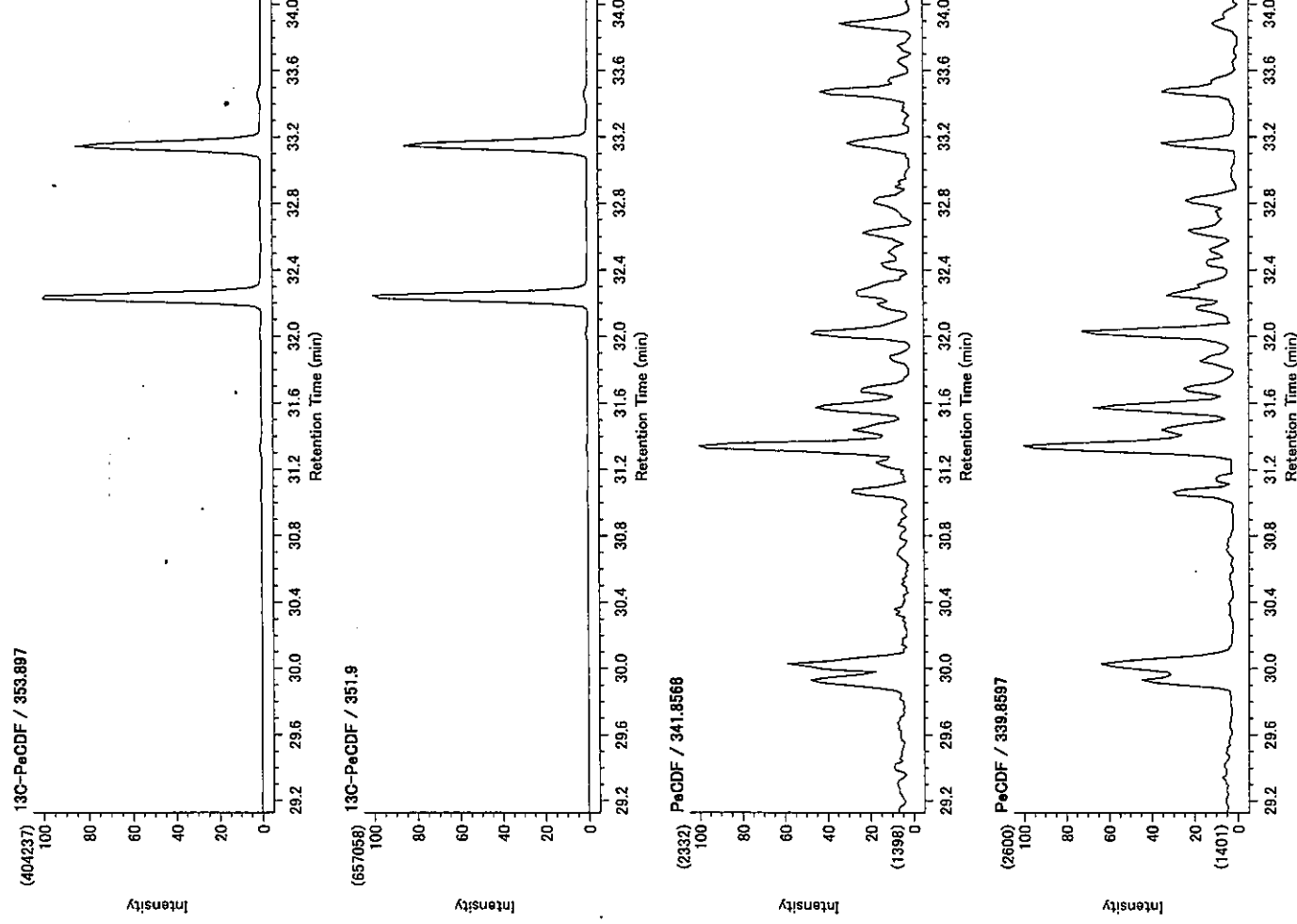
Compound View

D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI



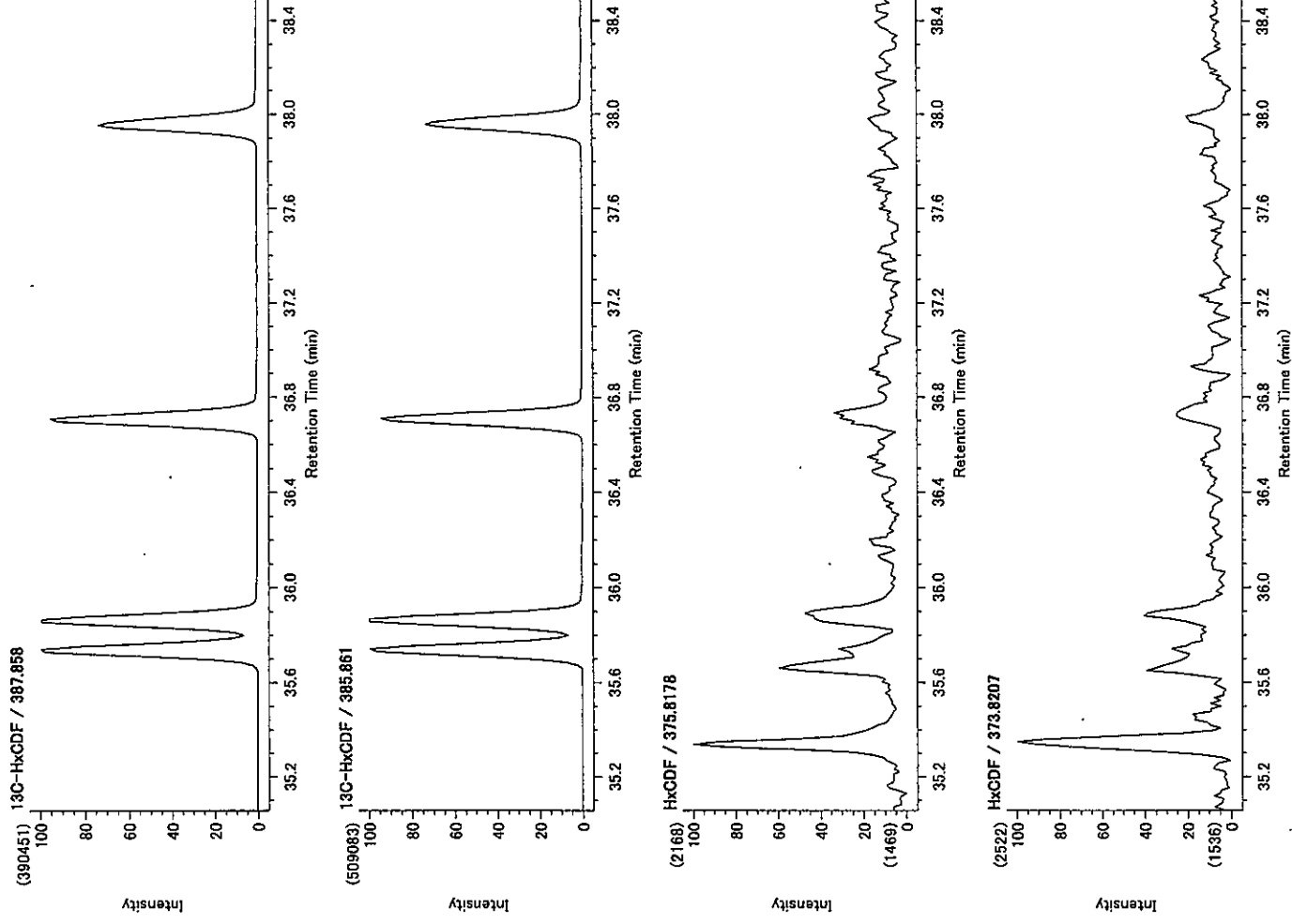
Compound View

D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI

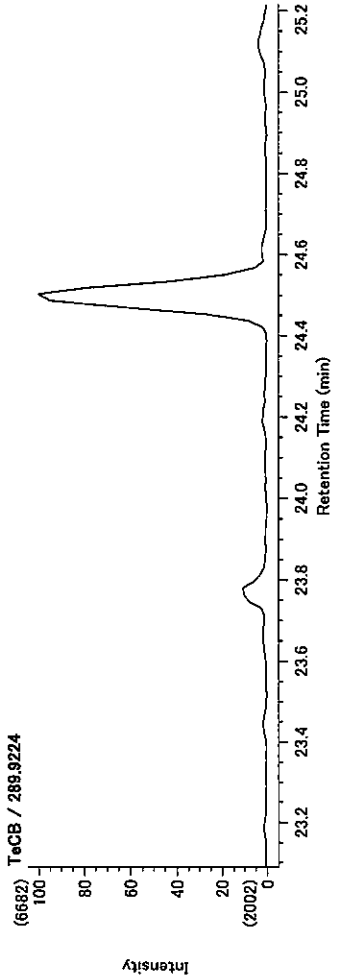
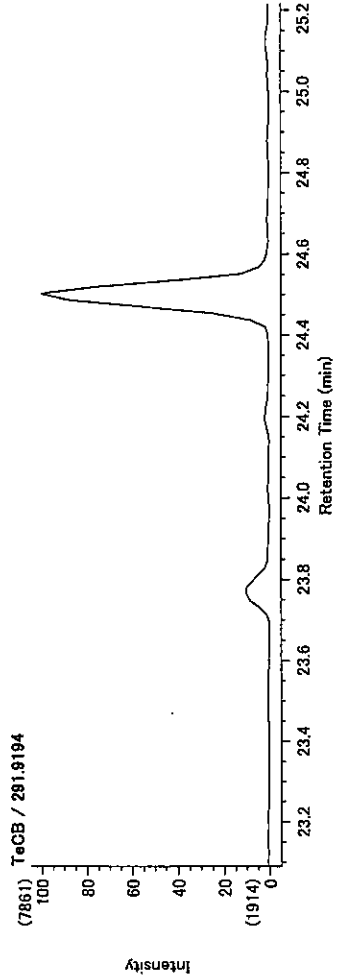
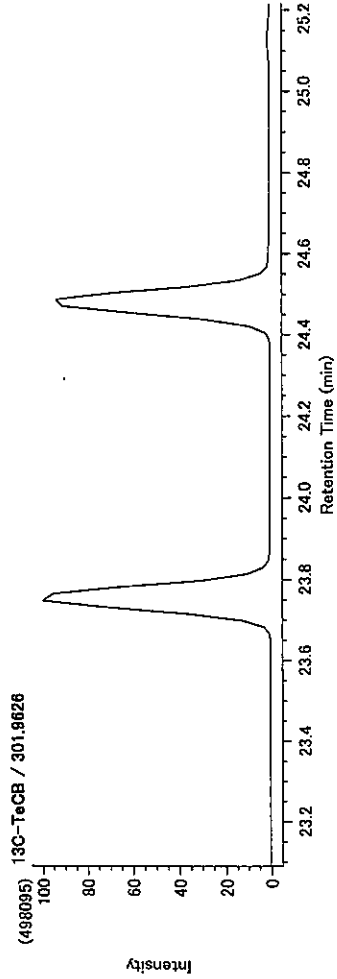
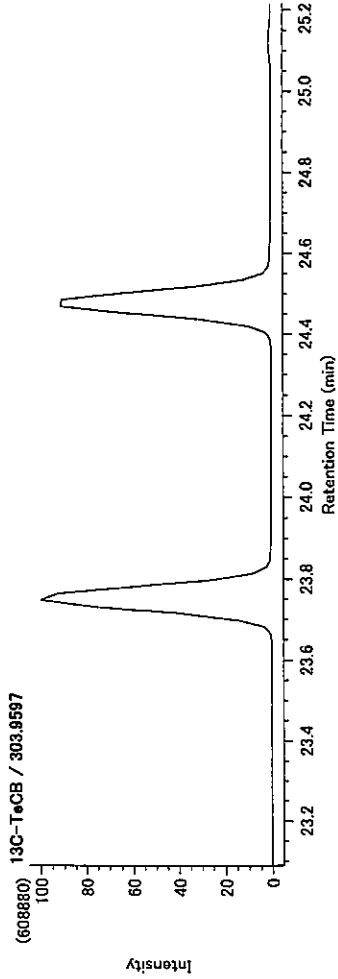


Compound View

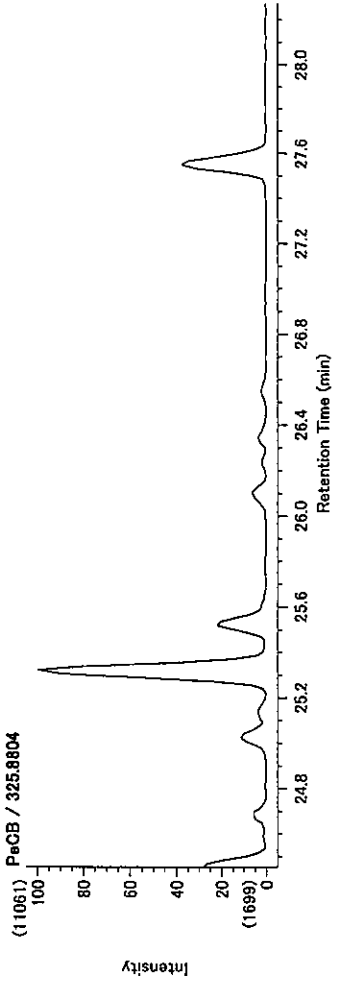
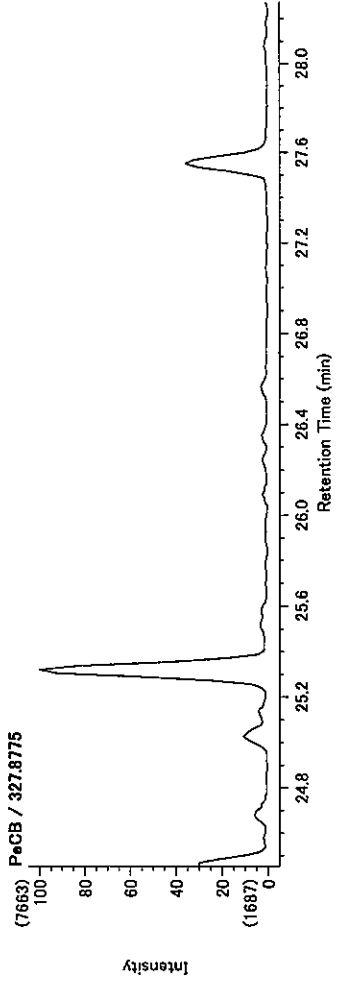
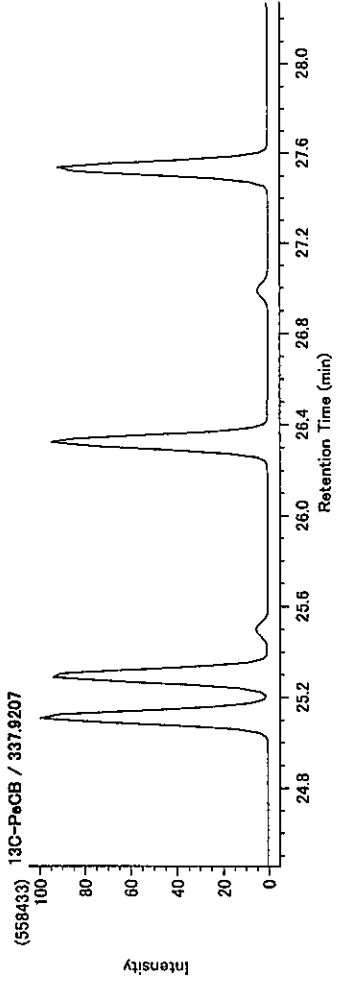
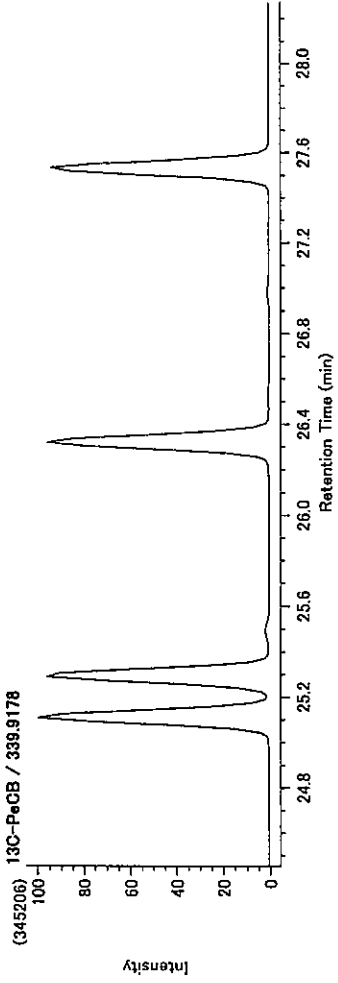
D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI



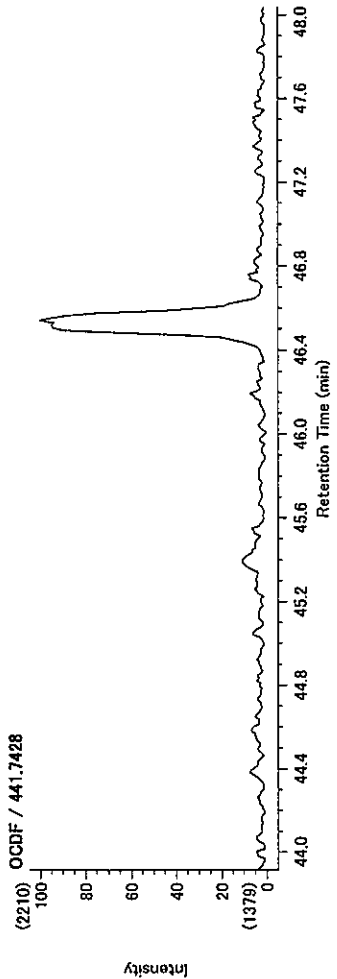
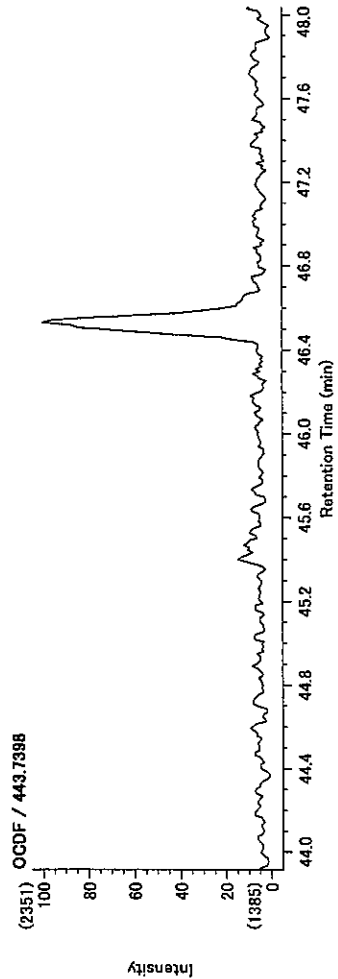
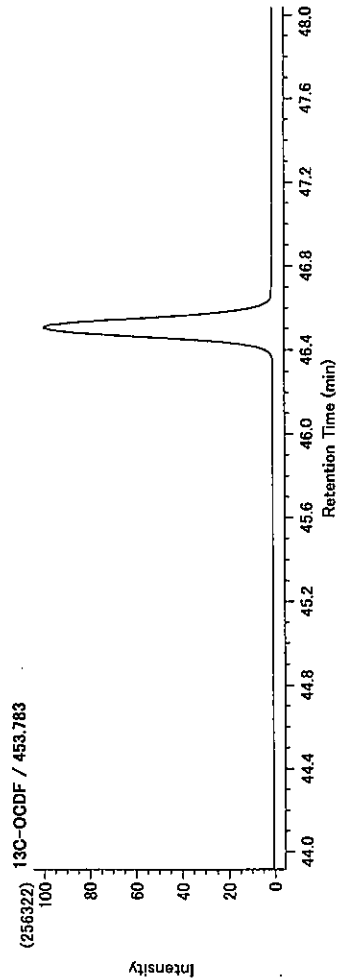
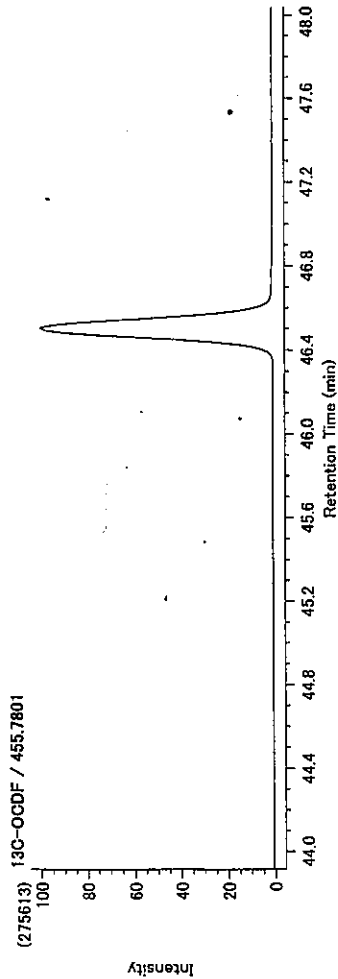
D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI



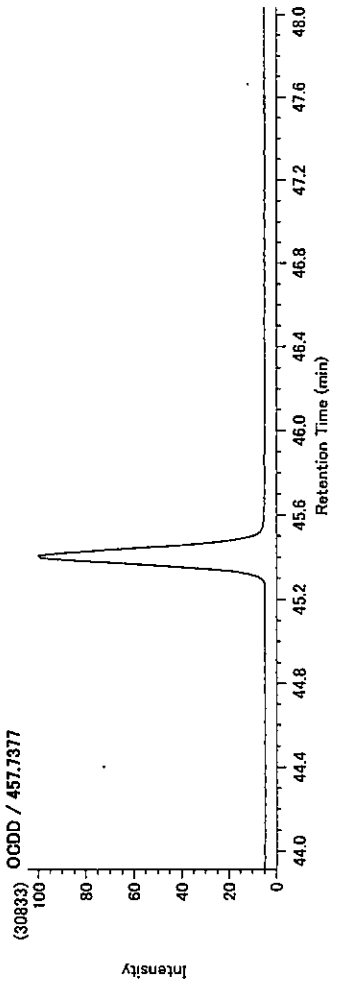
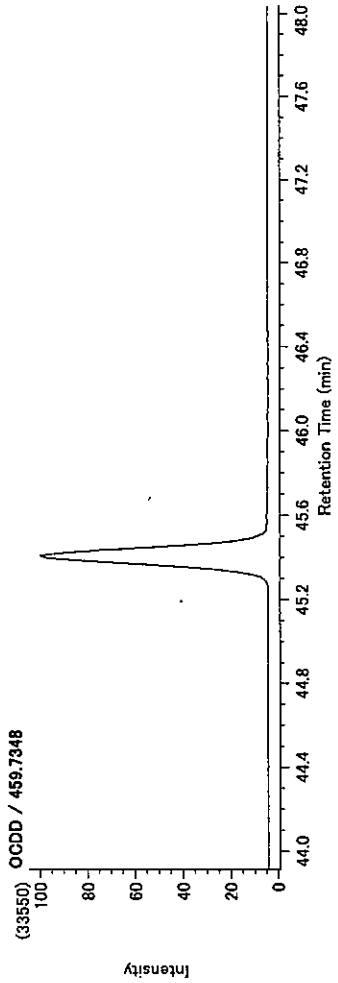
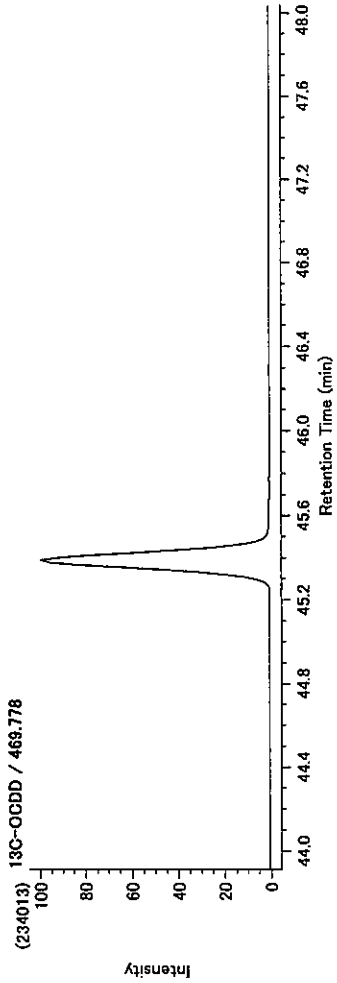
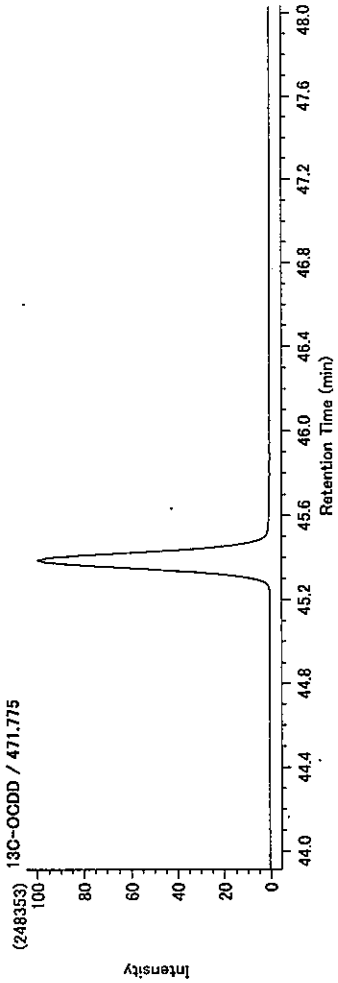
D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI



D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI

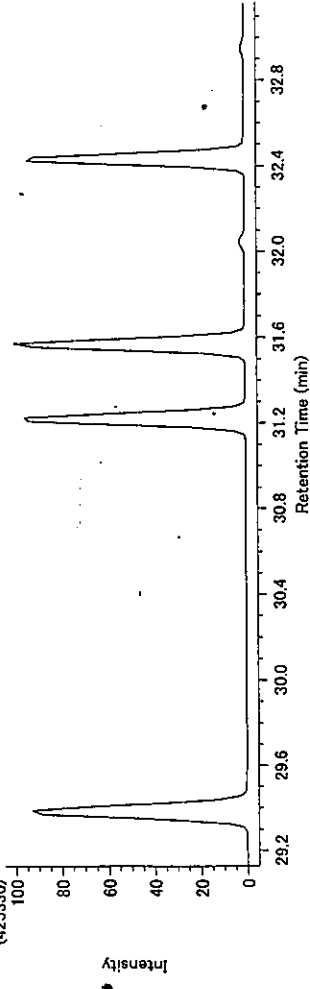


D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI

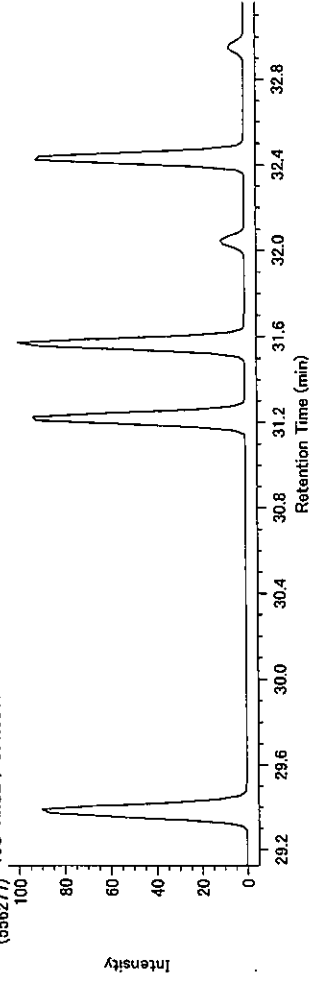


D2-250118-1_S22_3137-1_KANKYO-BOSAI

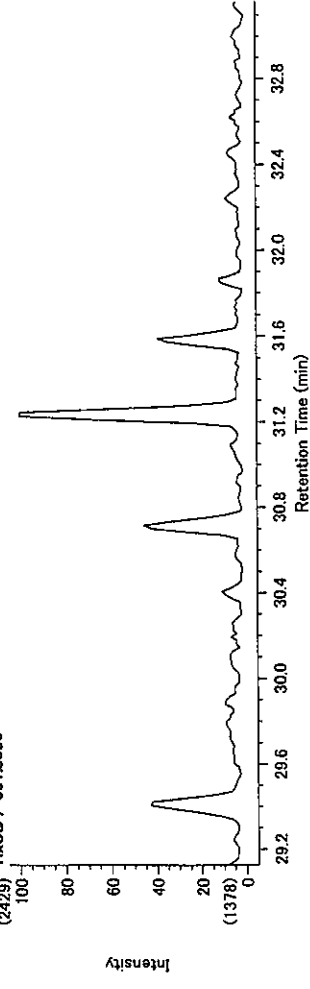
(425330) 13C-HxCB / 373.8788



(556277) 13C-HxCB / 371.8817



(2429) HxCB / 361.8385



(2574) HxCB / 359.8415

